

横須賀市

横須賀市における精神保健福祉 包括ケアシステムの構築推進

横須賀市では精神障害の有無や程度にかかわらず、誰もが安心して暮らすため、地域精神保健医療福祉の一体的な取組の推進に加え、地域住民の協力を得ながら、差別や偏見のない、あらゆる人が共生できる地域づくりを目指しています。

1 県、指定都市、中核市、特別区の基礎情報

横須賀市



取組内容

- 横須賀市は神奈川県南東部三浦半島に位置する中核都市です。
- 海山と豊かな自然に恵まれています。
- 横浜、東京へのアクセスもしやすいです。



基本情報（都道府県等情報）

障害保健福祉圏域数 (R5年7月時点)		か所	
市町村数 (R5年7月時点)		市町村	
人口 (R5年7月時点)	376,847	人	
精神科病院の数 (R5年7月時点)	13	病院	
精神科病床数 (R5年7月時点)	310	床	
入院精神障害者数 (R5年7月時点) ※R&MHRAD2021年度630調査より	合計	298 人	
	3か月未満 (%) : 構成割合	56 人 / 18.8 %	
	3か月以上1年未満 (%) : 構成割合	21 人 / 7.0 %	
	1年以上 (%) : 構成割合	221 人 / 74.2 %	
	うち65歳未満	109 人	
	うち65歳以上	112 人	
退院率 (R5年7月時点) ※R&MHRAD2021年度630調査より	入院後3か月時点	71.2 %	
	入院後6か月時点	27.5 %	
	入院後1年時点	1.1 %	
相談支援事業所数 (R5年7月時点)	基幹相談支援センター数	1 か所	
	一般相談支援事業所数	5 か所	
	特定相談支援事業所数	22 か所	
保健所数 (R5年7月時点)	1	か所	
(自立支援)協議会の開催頻度 (R4年度)	(自立支援)協議会の開催頻度	45 回/年	
	精神領域に関する議論を行う部会の有無	有 (無)	
精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築に向けた保健・医療・福祉関係者による協議の場の設置状況 (R5年7月時点)	都道府県	有・無	か所
	障害保健福祉圏域	有・無	か所/障害保健福祉圏域
	市町村	有・無	1 / 1 か所/市町村

2 精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築に向けた取組概要（全体）

(1) 保健・医療・福祉関係者による協議の場の設置

・全体会議	関係機関の代表者級	年1回	事業内容の検討、評価
・実務担当者会議	関係機関の実務者級	年2回	事例検討を通じて課題の洗い出し、解決に向けた検討
・個別支援会議	退院に向けたカンファレンス参加者	複数回	個別ケースの退院に向けた検討

(2) ピアサポーターの活用に係る事業

精神科病院等に入院中の患者の地域移行や精神障害者が地域の一員として自分らしい暮らしができるように、ピアサポーターが訪問等の支援を実施する。

(3) 精神障害者の地域移行関係職員に対する研修に係る事業

関係機関の相互理解を促進し、包括ケアシステム構築するため、年1回、研修を実施する。

(4) 措置入院者及び緊急措置入院者の退院後の医療等の継続支援に係る事業

措置入院者等が退院後の医療継続ができるように、関係機関と連携し、必要に応じて受診同行等を行う。また、個別カンファレンス等で制度について関係機関に周知を図り、退院後支援計画に基づく支援を実施する。

(5) 精神障害者の家族支援に係る事業

精神障害者の家族が安心して、精神障害者に本人の支援にあたるよう家族相談会を実施する等、家族の支援を行う。

3 精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築に向けた取組の経緯

	事業項目	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
1	保健・医療・福祉関係者による協議の場の設置	全体会1回 実務者会議1回	全体会1回 実務者会議2回	全体会1回 (書面会議) 実務者会議0回	全体会1回 (書面会議) 実務者会議0回	全大会1回 実務者会議1回 (ZOOM会議)
2	精神障害者の家族支援に係る事業	家族会6回 (謝礼対象:4回)	家族会6回	家族会1回 (5回は中止)	家族会6回 (2回は中止)	家族会6回 (1回中止)
4	措置入院者及び緊急措置入院者の退院後の医療等の継続支援に係る事業	措置入院29件 同意者数12件 計画作成12件	措置入院47件 同意者数17件 計画作成16件	措置入院58件 同意者数20件 計画作成20件	措置入院44件 同意者数15件 計画作成12件	措置入院51件 同意者数19件 計画作成14件
5	精神障害者の地域移行関係職員に対する研修に係る事業	研修会1回	研修会1回	中止	中止	研修会1回 (こころサポーター)
6	普及啓発に係る事業		研修会1回	中止	中止	研修会1回

4 精神障害にも対応した地域包括ケアシステム構築に資する取組の成果・効果

＜令和4年度までの成果・効果＞

課題解決の達成度を測る指標	目標値 (R4年度当初)	実績値 (R4年度末)	具体的な成果・効果
令和2年度、令和3年度も協議会、研修が中止に追い込まれた経過があった。令和4年度もコロナ対応に追われていたが開催することを目標に動いた。			

5 精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築に向けた現時点における強みと課題

【特徴(強み)】

・日常的なやり取りで顔の見える関係が構築できている。

課題	課題解決に向けた取組方針	課題・方針に対する役割(取組)	
課題の整理	協議の場では出された課題について、実現可能性を図っていく。	行政	協議の場の設定、議題提案、情報共有
		医療	組織内での情報共有、検討
		福祉	組織内での情報共有、検討
		その他関係機関・住民等	組織内での情報共有、検討
		行政	
		医療	
		福祉	
		その他関係機関・住民等	

課題解決の達成度を測る指標	現状値 (今年度当初)	目標値 (令和5年度末)	見込んでいる成果・効果
①			
②			
③			

※指標設定が困難な場合は、代替指標や定性的な文言でも構いません。

6 精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築のための連携状況

【にも包括構築の体制】

保健所保健予防課が障害福祉課、精神科病院、障害福祉サービス等事業所、家族等が参画する協議会（協議の場）と連携しながら地域保健をベースににも包括の構築を推進

所管部署名	所管部署における主な業務
保健所保健予防課	精神保健を担当。協議会の運営、研修、家族会の運営をしている。

連携部署名	連携部署における主な業務
障害福祉課	手帳の交付、福祉サービス利用に関する相談

各部門の連携状況		強み・課題等
保健		
医療		
福祉		
その他関係機関・住民等		

7 精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築のための協議の場の実施状況

名称	協議の場の構成員	開催頻度	実施内容	特記事項等(課題・強み等)
精神保健福祉連絡協議会	関係機関の代表者級	年1回	事業内容の検討、評価	
精神保健福祉実務者連携会議	関係機関の実務者級	年2回	事例検討等を通じて課題を洗い出し、解決に向けた検討	
個別支援会議	退院に向けたカンファレンス参加者	複数回	個別ケースの退院に向けた検討	

【その他事項】 ※協議の場運営における課題や悩んでいる点、アドバイザーに相談したい事項など、自由に記載ください

8 精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築に向けた今年度の取組スケジュール

時期(月)	実施する項目	実施する内容
R5年5月		家族語らいの会
R5年7月		家族語らいの会
R5年8月	協議の場	第1回精神保健福祉実務者連携会議
R5年9月		家族語らいの会
R5年10月	普及啓発(市民、支援者)	心のサポーター研修
R5年11月		家族語らいの会
R6年1月	協議の場	第2回精神保健福祉実務者連携会議
R6年1月		家族語らいの会
R6年2月	協議の場	精神保健福祉連絡協議会
R6年3月		家族語らいの会